



TOHOKU
UNIVERSITY

「知のフォーラム」21世紀の支倉常長プロジェクト推進企画 「日本学における知の創出セミナー」

日本学セミナーは、日本を「対象」とする研究や、日本からの「視点」を重視する研究を広く「日本学」と捉えることにより、多様な日本学研究者の研究交流を促進し、東北大学における日本学の研究力強化を図ることが目的です。2016年度「知のフォーラム」テーマプログラムの一つである「21世紀の支倉常長プロジェクト」(オーガナイザー：尾崎彰宏 文学研究科教授ほか)の一環として開催しています。



Seminars on Japanese Studies as an
Interdisciplinary Meeting Point

第5回 日本学セミナー

江戸時代人の伝記史料としての 「狂歌」と「浮世絵」

講師：高橋 章則（東北大学大学院文学研究科 教授）

美術品として評価される「浮世絵」は「狂歌」という文芸ジャンルと深く結び付いたものが多く、画中の狂歌に関連する文字群の解析を通じて、作者と絵師との繋がりがばかりでなく日常的な学芸の実態、さらには人生の動静までも読み取ることができる場合があります。江戸時代人の人生の一コマを析出する素材として「狂歌」と「浮世絵」とを位置付け、その上で江戸時代の魅力、日本研究の魅力に言及します。

日 時：2016年4月21日(木) 16:30～18:00

会 場：東北大学川内南キャンパス
文科系総合研究棟 11階 大会議室

事前申込：不要 ※どなたでもご参加いただけます

懇 親 会：セミナー後に学外のお店で懇親会を行います。
参加希望の方は4月18日(月)までに事務局へご連絡ください。

事務局：塩谷 芳也（知の創出センター特任助教、プログラムコーディネータ）
email shiotani@m.tohoku.ac.jp

主 催：知の創出センター
尾崎 彰宏（文学研究科 教授）



TOHOKU FORUM
for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp

Supported by



TOKYO ELECTRON